若い世代の金銭感覚に警鐘を鳴らす ファイナンシャルプランナー

小屋 洋一

Koya Youichi

- ◆「30歳サラリーマンは年収1,000万円でも破産する!」 と唱えるファイナンシャルプランナー
- ◆若者は「親のスネをかじるしかない!」と 2世代マネープランニングを考案
- ◆(株)マネーライフプランニング代表取締役



【現代はマネープランの立案が難しい!】

ファイナンシャルプランナーの仕事は、ライフプラン (人生設計)と、マネープランを立てること。 自分が死ぬまでの仕事、結婚、子育て、住宅購入、 退職後の生活、相続等、人生の計画を立てて、 「お金」の面からサポート・アドバイスを行います。 ところが、現代の30代のサラリーマンは、 団塊の世代(親世代)と比べ、生涯賃金だけでも 数千万の受給格差があり、"貧乏"すぎてプランの

マネープランニングが破綻するといいます。小屋氏は、時代に合わせたコンサルティングを行う事で注目されています。

こんな人が、いちばん危ない!

- □収入に見合うレベルの生活をしていると思う。
- □マイホームを購入した、もしくは購入したい。
- □保険は、大人のたしなみだと思う。

立案自体が不可能な現状。年収1,000万円でも

□よくわからないけど、老後も何とかなると思う

1977年宮崎県生まれ、東京都在住。 小学生のバブル期に、株式市場について興味を持つ。慶応義塾大学経済学部卒業、総合リース会社を経て、不動産会社に転職。 日本の経済状況、年金制度、医療制度などの不安を覚え、資産運用に興味を持ち、ファイナンシャルプランナーの資格を取った。 2008年(株)マネーライフプランニング創業。コンサルティング業務を行う。

顧客は団塊ジュニア世代以下の30代のサラリーマンがほとんどで、「どうやってもライフプランに対するマネープランが成立しない」という問題に直面。試行錯誤を繰り返し、「2世代マネープランニング」を考案。そのメソッドを書籍化した。

20~30年後の日本の危機的状況を変えるため、まずは若い世代の金銭感覚の回復を目指している。

【資格】 CFP(R)(サーティファイド ファイナンシャル プランナー (R)) FPの国際共通資格 / 1級ファイナンシャルプランニング技能士(国家資格) / 社団法人証券アナリスト協会検定会員 / 宅地建物取引主任者(国家資格)シニア・ライフ・コンサルタント(生命保険協会資格) / 二種証券外務員

【消費税UP + 物価上昇は 家計を苦しめる!!】

物価が上がれば、相対的にお金の価値は下がります。 物価が2%上がれば、1000万円の現金は実質20万円分『目減り』す

ることになり、980万円分の価値しかなくなってしまうのです。 8%にとどまらず13%まで引き上げられる消費税に加え、家計には ダブルパンチ。そこで必要になるのが、自己防衛策です。

【賢い資産運用で"お金の価値"を下げない事】

株や投資信託など、様々な資産運用がありますが、 現在の平均的な日本人の金融資産は、8割近く が「銀行預金」と「保険・年金」に偏っているという 非常にいびつな現状です。

オススメする「賢い資産運用」の方法とは、円高・ 円安・インフレ・デフレいずれの状態になっても

良いように、「リスク分散」して全ての資産を保有しておくことです。

【小屋流 消費税対策術7】

- ①「20年先までの ライフプランを立てる」
- ②「耐久消費財の駆け込み需要の 損得を仕分けする」
- ③「固定費の見直しをする」
- ④「不動産の買い時はプロに聞け!」
- ⑤「預金の目減りを防ぐ」
- ⑥「年金の目減りを補う」
- ⑦「自分年金を作る」

動画サイト「GyaO!」の番組で 上昇する消費税の対策法7つを 分かりやすく紹介しています。

外国株式

外国債券

国内债券

国内株券



【ぜひ取材をご検討ください】

- ・現代の20代、30代のお金の事【現状、トラブル、貯蓄法、団塊世代の実状】
- ・消費税対策 ・資産運用、景気に左右されない金融商品、不動産投資など

取材のお問い合わせは、ホワイトナイト(株)久保まで TEL:03-5414-2831